

消防団長である末永氏を訪ね、消防団と町との協力、範囲、主活動等を取材してきた。幸い末永氏は移在住である。また船引消防署も訪ね、署員から取材した。

イ VTRの撮影

▶移地区の消火設備……通学路にもあり目にする機会も多いが、それが何のために、誰が設置したかまでの意識はない。さっそく役場支所を訪ね、場所を聞き、次のものを収録した。

- ・防火水そう
- ・防火せき

▶消防署の中の設備……子どもたちは、実際に消防署内を見学したことがないし、生活経験からその必要性も感じていなかった。そこで、次の設備を収録してきた。

- ・車庫内外の様子、設備・司令室
- ・仮眠室・事務室内の様子・掲示物（これらは、署員との対話形式で収録したので、重要な資料の1つになった。）

▶消防団活動の撮影

地域の協力体制という視点からも重要な活動である。団長の紹介により早朝5時からのポンプ操法訓練を収めることができ、これは子どもたちにとって新鮮な驚きとなった。下位児童のS子は、まとめの作文で

消防団の人たちは、朝5時に起きて練習しているんだなあ。初めて知りました。消防団の人は、本気でやっているなあと思いました。

と書いており、また、上位児童T男は、

VTRを見て、ロボットみたいにすばやくやっているのがびっくりしました。

中位児童のK子は、

あんな朝早くからでつかれないのかなあ。動きもしゃしゃきして、なまけている人はいなかった。

と、よく観察している。これらVTRの資料は、時間や労力もかかるが、そ

れによって、子どもたちの学習意欲は必ずや喚起されると言えるだろう。

<魅力ある授業展開のために>

ア 「校内たんけん」をする

普段見過している校内の消・防火設備を探して歩く活動はグループ毎に熱心に学習していた。

イ 教頭先生の話聞く

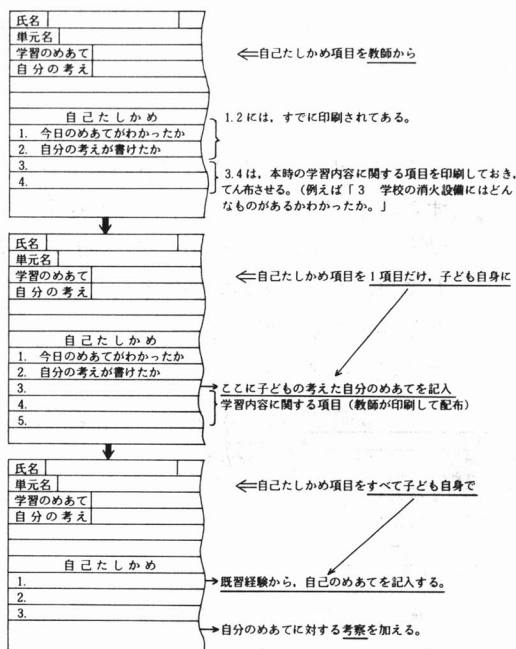
教職員も学校から火災を出さないよう週番活動をしたり、防災計画を立てたりしていることを話していただいた。

⑤ 自己たしかめ

～自己たしかめは主体的な学習態度を育てる～

<自己たしかめを取り入れた

段階的なノート指導>



やる気の無い子は学ぼうとしない。教師は勉強することをきびしく強制する。すると、ますます主体的学習態度が欠如していく。当然の結果である。これを改善するには、評価の改善が糸口となる。なぜならば、